

国交省の「かわまちづくり」に和水町が登録 菊池川軸に憩いの場整備、8月31日に手交式

国土交通省が水辺を生かした賑わい創出をハード・ソフト両面から支援する「かわまちづくり」支援制度に、和水（なごみ）町の「かわまちづくり計画」が8月7日付で登録された。これに伴い、8月31日に和水町役場で計画登録証の手交式が行われた。

同計画は、町内最大の観光・集客拠点である「道の駅 菊水ロマン館」周辺や、高速道路に近い町の玄関口エリアを対象とする。町内を流れる一級河川・菊池川を軸に憩いの場や交流空間を整備し、安全な利用環境の確保と新たな賑わい創出を目指す。

国と町が連携して取り組む主な整備内容は、ハード事業で国交省が親水護岸の整備、高水敷の整正、管理用道路の整備など。和水町は周辺の舗装、サイクリングロード、多目的広場の整備など。ソフト事業は国交省が河川空間のオープン化に向けた「都市・地域再生等利用区域」の指定手続き等。和水町が各種イベントの企画立案や地域内外への情報発信等。

九州地整局管内における令和8年度の新規登録としては、熊本県内で「杖立温泉かわまちづくり（小国町）」に次ぐ2箇所目、県内全体では15箇所目の登録。官民・地域が一体となって菊池川の豊かな自然や歴史資源を活かした空間づくりを進め、観光誘客と地域活性化に弾みをつける構えだ。

[「和水町かわまちづくり」（熊本県和水町）](#)